

横浜災害ボランティアネットワーク会議

平成 30 年度 第 6 回運営委員会について報告します。(案)

日 時	平成 30 年 12 月 4 日(火) 18 : 30~20 : 00
会 場	横浜市健康福祉総合センター 8 階 8 AB 会議室
参加者	鶴見区災害ボランティアネットワーク：河西（代表） ガールスカウト横浜市連絡協議会：外山(副代表) 泉区災害ボランティア連絡会：乾（副代表） 南区災害救援ボランティアネットワーク：高松 港南区災害ボランティアネットワーク：井出 保土ヶ谷災害ボランティアネットワーク：川名 磯子区災害ボランティアネットワーク：和田 金沢区災害ボランティアネットワーク：深浦 港北区災害救援ボランティア連絡会：宇田川 とつか災害救援活動ネットワーク：宮川 青葉区災害ボランティア連絡会：小池 認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク：伊藤 神奈川災害ボランティアステーション：鈴木 オブザーバー：横浜市市民局市民活動支援課 清見 事務局：横浜市ボランティアセンター 若林・別田

【議題】

1 支援者向けコーディネートスキルアップ研修会について

資料 1 に基づき、事務局より説明。当日の流れと役割分担について確認をした。講師は 18 時に到着予定だが、早めに来ていただけるか確認中。

- ・運営委員、事務局集合時間：17 時 30 分

(今回決定した役割分担)

- ・災ボラ、区社協受付：高松、外山
- ・行政受付：市民局
- ・マイク：鈴木、小池

意見：18 時講師打ち合わせに同席できるか？（進行役：宇田川）

→同席をお願いした。

質問：当日の参加者アンケートは、どのような内容か？

→例年通り、研修会参加の感想や次回以降の研修希望などを予定。

意見：昨年のアンケートがとりっぱなしになっていた。次につながるような意見がもらえたら良い。

運営に関する感想ももらってはどうか。

意見：週末に災害ボランティアセンターのシミュレーションをする区がいくつかあるため、チラシのデータだけでも急ぎ送付してほしい。

意見：本会議のHPで周知しても、あまり見てもらえないのでは。

意見：災害ボランティアセンターをどのように立ち上げるか、どのように連絡会をしていくかなど開催意図に合わせてアンケート項目を入れてはどうか。併せて、理解度の項目を入れてはどうか。

意見：岡山では、地域のネットワーク会議を作った後に災害が発生した。その動きをきけたら。学びになるのでは。

結果：内容をつめて、講師と打ち合わせする。

2 市・区災害ボランティアセンター設置訓練について

資料2に基づき、事務局より説明。災害支援の報告をいただく団体と、全体の流れについて確認を行った。

<報告団体について>

意見：直にセンター運営をした人は、あまりいないのでは？

意見：いろいろな現場を知っている団体として、ピースボードはどうか？（運営側の立場）

意見：YMCAはどうか？（運営側の立場）

意見：講師謝金の予算はあるのか？

→ない。（事務局）

意見：ブロック別連絡会の補助金が余るようであれば、予算を流用できるのでは？有効活用になる。

→Cブロックは補助金を使わない予定。予算があまることが確認できた。

意見：倉敷市に岩手から遠野まごころネットが支援に来てくれた。しかし災害復興支援センターの人かわからない。（運営側の立場）

意見：個別と全体のつながりをどうしていったのか、ということをお話していただける人が良いのでは。

<内容について>

意見：ピースボードとビデオをみでのディスカッションでもよいのでは？ディスカッションの中でボラからの報告はなしにして、ディスカッションの中で適宜報告してもらえればよいのでは？

<決定事項>

- ・災害支援報告を1団体にすることとなった。
- ・ゲストが決まり次第、チラシを作成する。早めに調整を。
- ・ピースボードは宇田川さんが調整。
- ・ピースボードが難しいようであれば、YMCAに打診（調整は外山さん）

【報告事項】

1 市域連絡会について

資料3に基づいて事務局から報告。参加団体から「コーディネーターが得意」「直接依頼が得意」という話がでたり、各団体の特徴の情報共有できた。また、市災害ボランティア支援センターの内容の

共有できた。

(感想、意見)

- ・いろいろな考えが団体にあったが、第1回目が開催できてよかった。災ボラに関わっている、という意識をもってもらえたらよい。今後も市域団体に何をお願いできるか考えていけたらよい。
- ・間をあけずに2回目を開催できた方が良いのでは。
- ・来てくれた団体が、次も出席してくれるかが問題。あまり注文はつけず、顔の見える関係を作ってから、お互い何ができるか話し合っていくとよい。
- ・市災害ボランティア支援センターに来て、何が協力できる、ということをお互いに考えてもらえる会議づくりを目指していけたらよい。
- ・外国人支援について横浜全体でつながっていないといけないので、青葉国際交流ラウンジも会員になった。市内で国際交流ラウンジは11か所あるが、被災者であり、助ける立場となる。災ボラがどのような役割があるのかを知っていただきたかったが、参加はしていただけなかった。
- ・団体の横のつながりをつくることから始める方向がよいのでは。
- ・障害者団体や外国人支援団体がつながることにも意味がある。「災害」という言葉でつながっている場合、本会議であったらよい。
- ・会員だけでなく、関係団体にどこまで声をかけてよいかわからなかった。
- ・最終的に自主的に開催してもらえるとよい。

2 ブロック別連絡会

Aブロック：次回南区が幹事で3月14日18:30～実施予定。市支援センターの役割について市ボラに話をしてもらう。

→市災ボラの動き、区災ボラの動きを両方話しあい、そのうえでお互い何ができるか、ということをお話合えたら良い。

Bブロック：次回栄区幹事で2月19日予定。

Cブロック：今回は泉区が幹事予定、日程は未定。

Dブロック：次回青葉区幹事で1月29日午後実施予定。ブロック別連絡会の補助金を使って支援Pに来ていただき、講演会をする。

3 県災ボラから

「神奈川の街災害から守る講演会」を1月12日13:00～開催予定。

【その他】

1 各委員より報告

港北区災害ボランティア連絡会

- ・12月8日災害ボランティアセンターシミュレーション実施予定。
2部形式。無線も使って情報共有しながら災ボラセンターを立ち上げる。区から災ボラセンターに依頼を出してもらい、地域防災拠点にボランティア派遣をする。そのほか、地域防災拠点に障害の

ある方がきた場合、災害時にどんなことが困るのかを考えていく。

青葉区災害ボランティア連絡会

- ・ 1月29日にDブロック別連絡会を開催。
- ・ 2月に災害ボランティアセンターシミュレーションを実施予定。2月25日には福祉避難所の研修を区社協と一緒に実施する。
- ・ 3月9日に、青葉区年末たすけあい募金からの助成金をつかってHUG講演会を実施予定。
- ・ 会員も倉敷に被災地支援をしているため、連絡会のなかで報告会をしてもらった。

認定NPO法人かながわ311ネットワーク

- ・ 防災教育を2つ実施、今年は参加者が多かった。
- ・ 12月8日に平沼フェスティバルの手伝いにいき、クロスロードをする予定。
- ・ 全7回のマンションの防災連続講座が終了する。冊子を無料で提供していたが無くなったため再販予定。

南区災害救援ボランティアネットワーク

- ・ 1月18日、徒歩困難者訓練を実施。4区の地域防災拠点と危機管理課と訓練をすることになった。

保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク

- ・ 2月2日に災害ボランティアセンターシミュレーションを実施予定。
- ・ 今後防災ウォークを実施予定。

泉区災害ボランティア連絡会

- ・ 防災訓練を実施したが、もう少し研修をしてもよいのでは、という意見がでている。

ガールスカウト横浜市連絡協議会

- ・ 10月にHUGの研修会を実施。参加者から、もっと深めて実施したいという意見があったので、今後検討していく。
- ・ 金沢区の帰宅困難者訓練をガールスカウトとして実施予定。

とつか災害救援活動ネットワーク

- ・ 3月10日に防災フェスティバルを実施予定。
- ・ 12月11日に、災ボラだけでなく区内の防災団体（アマチュア無線とハウスメンテ、セイフティリーダー等）と、説明会と懇親会を予定。
- ・ 会員向けの研修をやりたいが、講師をしてくれる人が限られるので実施に結び付かない。やりたい、という会員の声は多い。

磯子区災害ボランティアネットワーク

- ・今年4月から新体制となった。
- ・現在の代表女性なので、婦人部を立ち上げた。災害時に女性が困るような事・物を啓発していく。

金沢区災害ボランティアネットワーク

- ・地域防災拠点訓練に11月に2回参加、ブースを設けてPRした。
- ・12月8日に災害ボランティアセンターシミュレーションを実施予定。
- ・日本赤十字社のイベントが国際交流週間であり、個人的に参加した。災害対応、多文化共生、高齢化をテーマに、20か国と合同でディスカッションをするイベント。語学奉仕団（通訳）として参加した。バングラディッシュの方が「ヒマラヤ山脈の雪解けが川において氾濫して災害が起きる」、ということ話をしていた。最近異常気象が多いので、日本でもそのようなことが起こるかもしれないと思った。また、地域のニーズが分からない、という声があった。ニーズを起こして、何ができるかのアクションプランを立てられたらよい。

港南区災害ボランティアネットワーク

- ・2月23日に災害ボランティアセンターシミュレーションを実施予定。例年金曜日に実施していたが、平日の昼間は参加者が限られるので、土曜日開催とした。試験の時期だが、区内の高校にも声をかける予定。
- ・地域防災拠点の運営委員の出席者も増えているが、もっと多くの方に参加してもらえるように呼びかけをしていきたい。

神奈川災害ボランティアステーション

- ・常総へ2回、熊本へ4回、西日本へ4回災害復興支援で行っているので、何かあれば支援の様子も話せる。災害時に即対応ができるよう、日々備えている。

鶴見区災害ボランティアネットワーク

- ・12月17日午前に、被災地の「現場を伝える！」として研修会を開催予定。
- ・1月17日に鶴見区役所にて災害ボランティアセンターシミュレーションを7時から実施予定。

2 事務局より

平成30年度災害ボランティアセンター運営者研修開催要項をご案内

3 その他

(港北区災害ボランティア連絡会より)

- ・2月23日、24日に災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練が開催され、募集が開始されている。最近若者も関わっているよう。2日間の参加が必須だが、全国の団体と知り合える機会になるので、興味があればぜひ参加してもらえるとよいとおもう。旅費の補助も出るよう（見学のみは補助なし）。

<次回日程：1月17日（木）横浜市健康福祉総合センター 8階 ボランティアコーナー>